

令和2年度

第2回 新見市国民健康保険運営協議会

会議資料

日 時 令和3年2月10日(水)
午後1時30分から
場 所 新見市役所南庁舎 3階 大会議室

【報告事項】

- (1)令和2年度 新見市国民健康保険事業報告について 別紙1
- (2)令和2年度 新見市国民健康保険特別会計(事業勘定)決算見込及び
予算執行状況等について
- | | |
|--------------------------------|---|
| 新見市国民健康保険運営状況 | 1 |
| 令和2年度新見市国民健康保険特別会計決算見込及び予算執行状況 | 2 |
| 基金運用状況及び新型コロナウイルス感染症における支援状況 | 3 |
- (3)令和2年度 新見市国民健康保険保健事業計画(第2期データヘルス計画)
中間評価について
- 別紙2
- (4)税制改正に伴う令和3年度国民健康保険税の見直しについて 4

【協議事項】

- (1)令和3年度 新見市国民健康保険事業計画(案)及び予算(案)について
- | | |
|---------------------------|-----|
| 事業計画(案) | 5~6 |
| 予算(案) | 7 |
| 令和3年度国民健康保険事業費納付金(確定)について | 8 |

新見市国民健康保険運営状況について

● 世帯数・被保険者数の推移(年平均:1月～12月で比較)

(単位:世帯、人)

	H30年		R1年		R2年	
世帯数 (前年比 %)	4,229		4,111	0.97	4,031	0.98
被保険者数	6,345		6,110	0.96	5,920	0.97
一般被保険者数	6,244		6,087	0.97	5,919	0.97
退職被保険者数	101		23	0.23	1	0.04
介護2号被保険者数	1,800		1,644	0.91	1,530	0.93

1月末:5,864人

● レセプト件数の推移(1月診療～11月診療分で比較)

(単位:件)

	H30年		R1年		R2年	
医 科	56,553		54,997	0.97	51,680	0.94
内 入院	2,304		2,020	0.88	2,247	1.11
内 入院外	54,249		52,977	0.98	49,433	0.93
歯 科	8,965		8,705	0.97	8,316	0.96
調 剤	37,647		36,894	0.98	34,836	0.94

● 医療費総額(1月診療～11月診療分で比較)

(単位:千円)

	H30年		R1年		R2年	
療養給付費	1,922,623		1,810,115	0.94	1,972,196	1.09
高額療養費	284,501		267,307	0.94	318,896	1.19
合 計	2,207,124		2,077,422	0.94	2,291,092	1.10

※一般被保険者分

● 短期証・資格者証交付状況

(単位:世帯数)

	H30.4	H30.10	H31.4	R1.10	R2.4	R2.8	R3.2
短期証	74	89	73	95	70	78	56
資格証明書	28	26	26	24	20	19	21
合 計	102	115	99	119	90	97	77

令和2年度 新見市国民健康保険特別会計(事業勘定)

決算見込及び予算執行状況

【歳入】

(単位:千円)

		予算現額(A)	決算見込額(B)	増減(B-A)	予算執行率(%)	備考
保険税	現年度保険税	503,821	506,172	2,351	75.0	一般現年収納率93.8%→94.7%
	滞納繰越保険税	16,989	22,954	5,965	110.4	実績見込による
小計		520,810	529,126	8,316	76.2	
国庫支出金		4,112	4,112	0	-	オン資、災害臨時特例補助金
県支出金		2,587,659	2,587,659	0	73.8	普通・特別交付金外
繰入金		341,822	341,822	0	33.7	基盤安定、財政安定化、診療所運営費外
内 他会計繰入金		331,287	331,287	0	34.8	法定外繰入:50,000千円
内 基金繰入金		0	0	0	-	12月補正時 20,972千円 →3月補正 0円
内 直診勘定繰入金		10,535	10,535	0	-	R1直診勘定繰越金精算分
繰越金		38,073	38,073	0	100.0	R1事業勘定繰越金→基金へ積立
諸収入		3,447	11,975	8,528	343.5	
内 被保険者延滞金		1,903	2,200	297	116.9	実績見込による
内 被保険者第三者納付金		1,201	9,300	8,099	774.4	実績見込による
内 被保険者返納金		101	233	132	154.5	実績見込による
内 その他		242	242	0	65.3	督促料・利子・雑入 他
計		3,495,923	3,512,767	16,844	70.7	

【歳出】

(単位:千円)

		予算現額(A)	決算見込額(B)	増減(B-A)	予算執行率(%)	備考
保険給付費	一般被保険者分	2,541,953	2,541,945	▲ 8	74.4	移送費減
	退職被保険者分	7,154	7,142	▲ 12	76.5	移送費、高額介護合算減
	その他	15,604	15,478	▲ 126	69.0	審査支払手数料、出産育児諸費、葬祭諸費、傷病手当金
小計		2,564,711	2,564,565	▲ 146	74.4	
国保事業費納付金	医療給付費分	530,291	530,291	0	75.0	
	後期高齢者支援金分	160,558	160,558	0	75.0	
	介護納付金分	42,476	42,476	0	75.0	
小計		733,325	733,325	0	75.0	
共同事業拠出金		3	3	0	-	退職者医療該当者把握のための経費
総務費		18,995	18,995	0	79.4	一般管理費、連合会負担金外
保健事業費		43,341	43,341	0	76.0	保健衛生普及費、特定健康診査等事業費
基金積立金		38,122	38,122	0	-	繰越金+基金利子分を積立
諸支出金		87,426	87,355	▲ 71	10.8	
内 還付金・還付加算金		3,960	3,890	▲ 70	63.9	退職還付金、還付加算金減
内 償還金		7,339	7,339	0	94.0	R1県普通交付金、国調交付分
内 繰出金		76,126	76,126	0	-	診療所運営費、直診勘定繰越金精算分
内 公債費(利子)		1	0	▲ 1	-	
予備費		10,000	0	▲ 10,000	-	執行見込なし
計		3,495,923	3,485,706	▲ 10,217	72.0	

歳入歳出差引額	0	27,061
---------	---	--------

※予算現額(A)については、3月議会提出予定の補正後予算額

※予算執行額は、保険税12月末、他1月末現在 予算執行率=(予算執行額)÷(予算現額)

基金運用状況及び新型コロナウイルス感染症における支援状況について

● 財政調整基金運用状況

収支予定日	収支予定額	内容等
R3.1.31	489,351,849	令和3年1月末の残高
R3.3.18	48,900	定期預金利息の入金(国保特会で収入、基金へ支出)
R3.3.18	0	国保特別会計(事業勘定)へ繰り出し(R1:86,947,000)
R3.3.18	38,072,455	国保特別会計(事業勘定)から繰り入れ(R1繰越金)
計	527,473,204	令和3年3月末の残高見込

● 新型コロナウイルス感染症における支援状況

国民健康保険税減免

- 対象者数及び減免額(令和3年1月末現在)

世帯数	対象者数	減免額(円)
4	8	383,400

- 財源内訳

期 間	名 称	補助率	内容等
R2.4.1 ~ R3.3.31	災害等臨時特例補助金	10分の6	県を通じて国保特会へ入金
	国特別調整交付金	10分の4	

傷病手当金

- 対象者数及び支給額(令和3年1月末現在)

世帯数	対象者数	支給額(円)
0	0	0

- 財源内訳

期 間	名 称	補助率	内容等
R2.4.1 ~ R2.12.31	国特別調整交付金	10分の10	県を通じて国保特会へ入金
R3.1.1 ~ R3.3.31	一般財源	—	全額市費

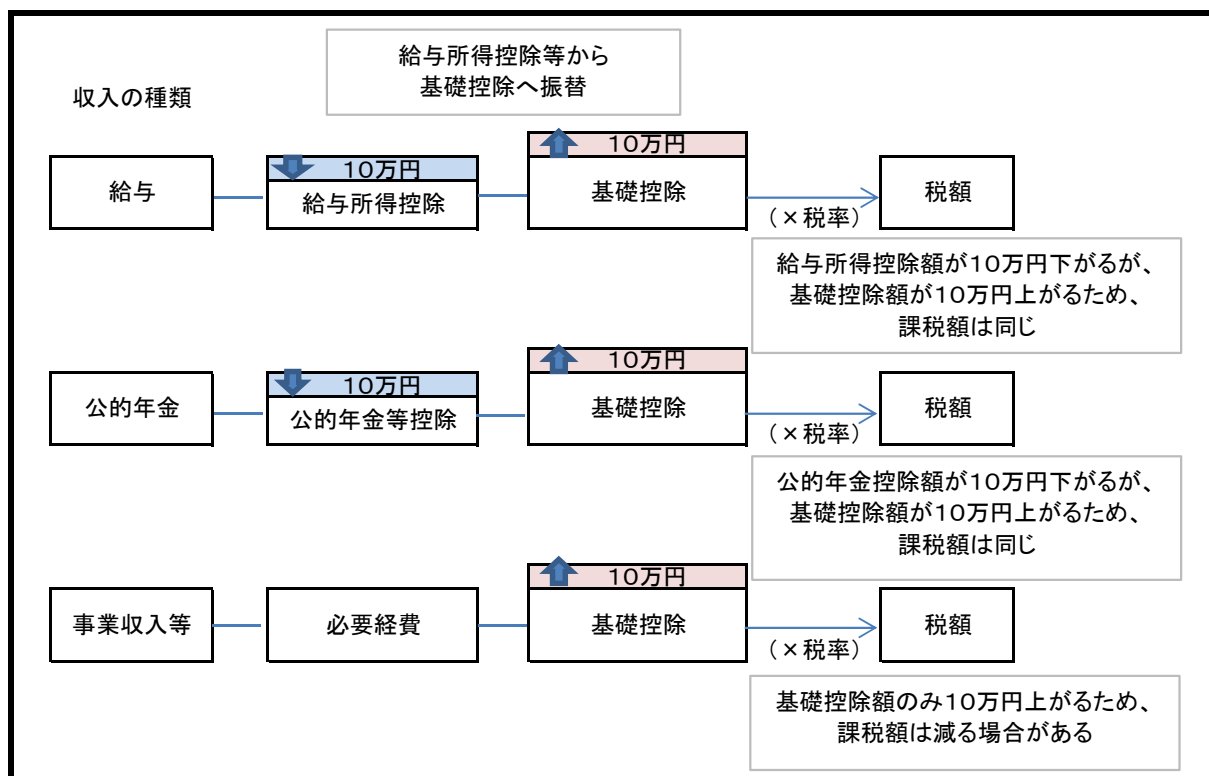
※R3.1.1以降の傷病手当金はR3国特別調整交付金の対象予定

税制改正に伴う令和3年度国民健康保険税の見直しについて

1 概要

令和3年1月1日施行の個人所得課税の見直しにおいて、給与所得控除額及び公的年金控除額が10万円引き下げられるとともに基礎控除額が10万円引き上げられます。

これに伴い、令和3年度以降の国民健康保険税において、負担水準に関して意図せざる影響や不利益が生じないように、被保険者に係る所得等について所要の見直しを行います。



2 見直しの内容

国民健康保険税の減額の対象となる所得の基準について、軽減判定所得の算定において基礎控除額相当分の基準額を33万円から43万円に引き上げるとともに、被保険者のうち一定の給与所得者と公的年金等の支給を受ける者の数の合計数から1を減じた数に10万円を乗じて得た金額を加える。

軽減判定所得

	改正前	改正後
7割軽減基準額	基礎控除額33万円	基礎控除額43万円 +10万円×(給与所得者等の数-1)
5割軽減基準額	基礎控除額33万円 +28.5万円×被保険者数	基礎控除額43万円 +28.5万円×被保険者数 +10万円×(給与所得者等の数-1)
2割軽減基準額	基礎控除額33万円 +52万円×被保険者数	基礎控除額43万円 +52万円×被保険者数 +10万円×(給与所得者等の数-1)

令和3年度新見市国民健康保険事業計画（案）

I 基本方針

岡山県国民健康保険運営方針に基づき、財政運営の健全化と保険税の軽減、医療費の適正化等を図っていく。

また、人生100年時代を見据え被保険者の健康の保持・増進に繋げて行くため、本市の国民健康保険事業の重点施策及び具体的な取り組みについて定め、計画的かつ効率的な事業展開を図っていくものとする。

II 重点施策

1 負担の公平

被保険者の公平な保険税負担が相互扶助の国民健康保険事業の要であり、税務課との連携を密に行い、国民健康保険税の一層の収納率向上に鋭意努力する。また、資格の遡及適用を厳正に行い負担の公平を期する。

2 資格の適正化

被保険者資格の認定にあたっては、年金事務所、健康保険組合等各保険者や事業主との異動日の確認を厳重に行う。また、国民年金の第1号、第3号被保険者資格喪失リストを活用し国保喪失届出の勧奨を行うと共に、年金被保険者情報を活用した国民健康保険資格事務要領に基づき資格の職権消除を行うなど、資格の適正化に努める。

3 給付の適正化

医療費の適正化は事業運営の重要な課題であり、レセプト点検の実施、ジェネリック医薬品に関する情報提供、過誤調整、第三者傷害等求償事務を確実に実施するとともに、重複受診防止等の指導にも取り組む。

4 保健事業の実施

第2期新見市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）に掲げる内容に沿って、若い世代からの健康意識の向上を図り、特定健康診査、人間ドックの受診を積極的に進める。また、現在及び将来に向けた医療費抑制を図るため、健康づくり課、市民及び関係団体等と連携し、若い世代からの生活習慣の改善に向けた切れ目のない保健事業を実施する。新規透析導入患者の抑制を図るため、糖尿病性腎症重症化予防事業についても積極的に取り組む。

III 施策の内容

1 負担の公平

① 収納対策

令和3年度の収納率の目標は、現年分97.0%以上、滞納繰越分23.0%以上、現年と繰越分を合計した総調定額に対する総収入額で85.0%以上とし、収納率の向上が図れるよう、保険税の口座振替の推進、収納強化月間の設置、滞納処分の実施、短期被保険者証の窓口受取を利用した納税相談等を行うと共に、納付機会の拡大を検討していく。

2 資格の適正化

① 資格喪失者への届出勧奨

国民年金の第1号、第3号被保険者資格喪失リストを活用し、厚生年金取得者への国保喪失届出の勧奨を行う。

他保険加入者の把握に努め、早期に資格喪失届の提出を勧奨する。

② 職権による資格喪失

厚生年金加入記録が確認された場合、年金被保険者情報を活用した国民健康保険資格事務取扱要領に基づき職権で資格を喪失させる。

3 給付の適正化

① レセプト点検による保険給付費の適正化

レセプト点検は専門職がいる国保連へ委託し、本市においてはレセプト点検後の費用調整、不当利得の処理を適正に行う。

② 第三者行為求償事務の取り組みの強化

第三者行為求償事務においては、被保険者及び損害保険会社等からの傷病届の提出が重要である。ホームページ、市報等の広報媒体を活用し傷病届に向けた周知を行う。また、レセプトから交通事故等の疑いがあると思われるケースについては傷病届の勧奨を行う。

③ 重複、頻回受診等の指導

市民課保健師が該当者に対して訪問指導を行い、適正な医療受診を勧める。

④ ジェネリック医薬品の使用促進

薬剤費は医療費の約2割を占めており、ジェネリック医薬品に関する差額通知を送付する等の情報提供を行うことにより、ジェネリック医薬品の使用促進を図り、薬剤費の抑制に努める。

4 保健事業の実施

① 人間ドック受診事業

40歳以上の希望者を対象に人間ドック受診を勧め、被保険者の福利厚生に努める。昨年度に引き続き、短期ドック、脳ドック、乳がん検診、子宮頸がん検診、前立腺検査を実施する。

② 特定健康診査・特定保健指導

被保険者の健康寿命の延伸を図るため、健康づくりガイドブックの各戸配布や告知放送、にしみiチャンネルによる特定健診受診勧奨用CM放送を行う等、特定健診の受診勧奨を行い、特定健診の受診率の向上を図る。

特定保健指導は、個別通知、電話、訪問等で受診勧奨を行い、疾病の重症化を予防すると共に特定保健指導の受診率の向上を図る。

③ 生活習慣病重症化予防

糖尿病・高血圧等の生活習慣病の重症化を防ぐため、データヘルス計画に沿って、各種保健事業を実施する。特に、糖尿病重症化予防を推進するため、医師会、医療機関との連携を進めるとともに、糖尿病対策連絡会では情報及び課題の共有を図り、糖尿病専門治療医療機関職員、岡山県、健康づくり課等関係機関が一体となって効率的な事業展開を行う。

④ 医療費抑制対策事業

20～49歳の健診費用の無料化を実施し、若い世代への健診受診を支援して健診を習慣化させることで、被保険者の健康増進を図り、将来の医療費抑制につなげる。

⑤ 健康づくり連携の推進

データヘルス計画をもとに医療費の現状や健診結果からみえる健康課題について、市民及び関係団体と共有することで、健康づくりに取組む意識を高める。

5 事務事業の効率化、適正化

① 職員の研修の充実

職員の国保に関する専門知識の向上を図るため、県、国保連合会の研修に積極的に参加するとともに、健康づくり課や係内での情報交換を密にする。

② 関係機関との連絡、情報交換

- ・ 県、国保連合会、年金事務所との連絡、情報交換の強化。
- ・ 県内他都市の国保担当課との連絡、情報交換の強化。

③ オンライン資格確認の開始

オンライン資格確認が令和3年3月から開始された。マイナンバーカード取得を促進し事務の効率化を図る。

IV 国民健康保険運営における必要な措置

国保広域化に伴い、県・市町村・国民健康保険団体連合会で構成する岡山県国民健康保険運営方針等連携会議において、岡山県の国民健康保険事業が将来にわたり安定的かつ円滑に運営できるよう引き続き連携、情報交換等を行う。

令和3年度 新見市国民健康保険特別会計予算(案)

【歳入】

(単位:千円)

		3年度予算案(A)	2年度当初予算(B)	増減(A-B)	備考
保険税	現年度保険税	495,777	502,199	▲ 6,422	被保険者数減による
	滞納繰越保険税	16,650	16,989	▲ 339	退職被保険者数は0人だが滞納繰越分が残る
小計		512,427	519,188	▲ 6,761	
国庫支出金		0	3,652	▲ 3,652	R2:オン資関係システム改修あり
県支出金		2,436,479	2,369,244	67,235	保険給付費増見込による普通交付金の増など
繰入金		327,969	328,377	▲ 408	
内 他会計繰入金		313,694	314,427	▲ 733	事業勘定赤字補てん繰入金 ▲10,000千円
内 基金繰入金		14,275	13,950	325	予備費10,000千円、還付金など
繰越金		1	1	0	R2事業勘定繰越金を計上 →基金へ積立
諸収入		3,037	3,077	▲ 40	
内 被保険者延滞金		2,003	2,003	0	
内 被保険者第三者納付金		501	501	0	
内 被保険者返納金		101	101	0	
内 その他		432	472	▲ 40	督促手数料▲40千円
計		3,279,913	3,223,539	56,374	

【歳出】

(単位:千円)

		3年度予算案(A)	2年度当初予算(B)	増減(A-B)	備考
保険給付費	一般被保険者分	2,387,118	2,329,062	58,056	高額療養費の増
	退職被保険者分	0	1,934	▲ 1,934	3年度要求なし
	その他	14,978	14,778	200	葬祭諸費の増
小計		2,402,096	2,345,774	56,322	
国保事業費納付金	医療給付費分	515,688	530,291	▲ 14,603	R1退職納付金精算分974千円含む
	後期高齢者支援金分	161,972	160,558	1,414	
	介護納付金分	50,099	42,476	7,623	
小計		727,759	733,325	▲ 5,566	
共同事業拠出金		3	3	0	
総務費		17,281	20,712	▲ 3,431	オン資関係システム改修費減、運営協議会費の増
保健事業費		47,373	47,493	▲ 120	特定健診関係減
基金積立金		200	200	0	R2繰越金+基金利子分を積立
諸支出金		75,201	66,032	9,169	
内 還付金・還付加算金		2,960	2,960	0	
内 繰出金		72,240	63,071	9,169	診療所運営費、施設整備基金分増
内 公債費(利子)		1	1	0	
予備費		10,000	10,000	0	財源:基金繰入金
計		3,279,913	3,223,539	56,374	

令和3年度国民健康保険事業費納付金(確定)について

1 納付金(確定)の算定状況

(単位:円)

算定状況	国保事業費納付金 (d)	標準保険税率の 算定ベース (e)	納付金 算定用 被保者数 (一般)	R2 一人あたり 保険税額 (1)	R3 一人あたり 保険税額 (2)	増減額 (1)-(2)
R2確定値	733,322,651	623,361,946	5,960	104,591	—	2,652
R3確定値	726,783,264	621,796,023	5,798	—	107,243	
差引	▲ 6,539,387	▲ 1,565,923	▲ 162			

※R3納付金:R1退職納付金精算分973,631円を除く

○ R2と比較して納付金が安くなった主な理由

- ① 前期高齢者交付金の増(対R2:+約36億4,200万円)
- ② 保険者努力支援制度(県分)の交付見込額の増(対R2:+約4,900万円)
- ③ 過去3年間の新見市医療費総額の減

} 県で調整

R2納付金算定時(H28~H30) : 73億7,914万円

R3納付金算定時(H29~R1) : 72億1,974万円

▲ 1億5,940万円 } 市で調整

2 今後の財政展望

R2年度財政調整基金額(A): **527,473** 千円 (単位:千円)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
納付金(一般分):①	786,040	827,162	733,323	726,784	747,134	768,054	789,559	811,667
市町村向け公費:②	236,723	249,663	241,342	242,908	243,000	243,000	243,000	243,000
保険事業分等:③	46,734	47,074	41,069	46,333	48,000	48,000	48,000	48,000
実際に集めるべき保険税:④	596,051	624,573	533,050	530,209	552,134	573,054	594,559	616,667
国民健康保険税:⑤	511,599	504,543	508,392	495,682	483,290	471,208	459,428	447,942
収納保険税(一般・現年分)	511,599	504,543	491,677	495,682	483,290	471,208	459,428	447,942
保険税増税額	—	0	16,715	0	0	0	0	0
法定外一般会計繰入金:⑥	70,000	60,000	50,000	40,000	20,000	0	0	0
財政調整基金:⑦	14,452	60,030	0	0	48,844	101,846	135,131	168,725
補填分基金累計額:⑧	—	—	0	0	48,844	150,689	285,821	454,545
基金残高:⑨	525,866	489,351	527,473	532,946	478,629	376,784	241,652	72,928

※ 納付金は年間 **2.8** %の増を見込む ※ H30、R1は実績値

※ 各数値の算出方法について

※ **H30に増税**(一人あたり平均約**3,000**円)

※ **R02に増税**(一人あたり平均約**3,000**円)

・ ④ = ① - ② + ③ (= ⑤ + ⑥ + ⑦)

・ ⑧ = ⑦の累計値

・ ⑦ = ④ - ⑤ - ⑥

・ ⑨ = (A) - ⑧